

織物美術家（京都）

# 龍村光峯 講演会

## 「錦～光を織る」



紋意匠図上で配色を考える龍村光峯。  
色糸同士の響き合いを大切に妥協のない作業は進められる。

平成22年10月19日(火)  
午後1時30分～3時00分  
於：札幌教育文化会館4F講堂



### ● プロフィール ●

- 1894年 初代龍村平蔵（号光波・光峯の祖父）織物業を創始
- 1938年 二代龍村平蔵（号光翔・光峯の父）「龍村織物美術研究所」を創立
- 1946年 龍村順（号光峯）、兵庫県宝塚市に二代龍村平蔵の三男として生まれる
- 1971年 早稲田大学文学部人文学科を卒業  
国際交流基金事業部展示課に勤務
- 1976年 父二代龍村平蔵の後継者として、家業を継ぐべく京都に帰る  
「株式会社龍村平蔵織物美術研究所」を設立。龍村光峯、代表取締役役に就任
- 1982年 社名を「株式会社龍村光峯」に改称
- 1994年 日本伝統織物保存研究会を設立。龍村光峯、理事長に就任
- 2000年 財団法人日本文化藝術財団より、日本伝統文化振興賞を受賞  
フィンランド・ラハティ市立美術館にて個展を開催  
京都文化博物館にて帰朝展を開催
- 2003年 ポーランド・クラカウ市国立博物館所属日本美術センターにて作品展を開催  
ハンガリー・ブタペスト市国立応用美術館にて作品展を開催、講演を行う
- 2004年 イタリア・ローマ日本文化会館にて作品展を開催  
フランス・パリ日本文化会館にて作品展を開催、講演を行う
- 2005年 国際日本文化研究センター主催、国際シンポジウム「日本の伝統工芸再考・外から見た工芸の将来とその可能性」に参加
- 2009年 九州国立博物館ミュージアムホールにて「光の織物—光峯の織物美術」展開催

### ● 代表作 ●

- 東京池袋サンシャイン劇場、緞帳「透潮」「サンシャイン」
- 佐賀市文化会館、緞帳「多布施川の光と風」
- 大蔵省（現財務省）買い上げ、三田会議所納入、タペストリー「和の集」
- 伊勢神宮式年遷宮記念「有職五十鈴川問道」
- 皇太子妃殿下ご婚礼支度品「雅の松」
- 東宮御所納入、タペストリー「瀬戸のうちうみ」
- 財団法人新日鐵文化財団紀尾井ホール、屏風「天平の風韻」
- 東京都新宿区四谷区民センター、緞帳「TAMAGAWAきらめき」
- 秩父小野田株式会社山手倶楽部、タペストリー「フェニックス」「五行—木火土金水—」
- 国際交流基金関西国際センター、タペストリー「かわらけ宝鏡文」
- 熊本県山鹿市八千代座、緞帳「山鹿八千代幻想」
- 九州大学医学部創立百年記念百年講堂、緞帳「彩綴海松頭微の図」
- 国立京都迎賓館貴賓室、会議室「水明の間」の襖裂製作および刺繍等監修
- 国立京都迎賓館主賓室、タペストリー「暈綱段文（一対）」
- 源氏物語千年紀 記念制作「紫の追憶」
- ★現在、第62回伊勢神宮式年遷宮用神宮製制作中

場 所 札幌市教育文化会館4F講堂

札幌市中央区北1条西13丁目〔電話：011(271)5821〕

主 催 工芸ギャラリー愛海詩

札幌市中央区北1条西28丁目2-17〔電話・FAX：011(613)1112〕

講演チケット 2,000円

上記お問い合わせ、チケットご購入については、工芸ギャラリー愛海詩までお電話、あるいはFAXでお尋ね下さい。尚、龍村光峯氏がプロデュースする「錦～光を織る」作品展を10月12日(火)～10月23日(日)まで工芸ギャラリー愛海詩2F（札幌市中央区北1条西28丁目2-17）で開催致します。講演会と合わせて実際にその技のすばらしさを目のあたりにしていただければ幸いです。